

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-230895

(43) 公開日 平成8年(1996)9月10日

(51) Int.Cl.⁶
B 6 5 D 30/10
81/20

識別記号

府内整理番号

F I
B 6 5 D 30/10
81/20

技術表示箇所
B
B

審査請求 有 請求項の数3 O.L (全3頁)

(21) 出願番号 特願平7-39844

(22) 出願日 平成7年(1995)2月28日

(71) 出願人 595029554

樋口 秀一

新潟県三島郡与板町大字本与板3504番地

(72) 発明者 樋口 秀一

新潟県三島郡与板町大字本与板3504番地

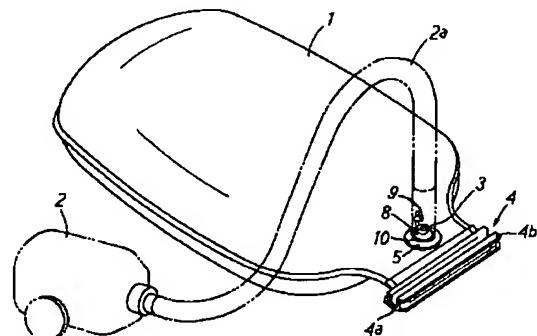
(74) 代理人 弁理士 吉井 昭栄 (外2名)

(54) 【発明の名称】 谷類貯蔵用の袋体

(57) 【要約】

【目的】 本発明は米の長期貯蔵を簡単に行い得る谷類貯蔵用の袋体を提供することを目的とする。

【構成】 米、麦、大豆等の谷類を貯蔵する谷類貯蔵用の袋体であって、一側に開口部1aを形成した袋体1を設け、該開口部1aを適宜な手段により密封可能に構成し、公知の掃除機2により内部の空気を吸引する吸引部3を該袋体1に設けたものである。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 米、麦、大豆等の穀類を貯蔵する穀類貯蔵用の袋体であって、一側に開口部を形成した袋体を設け、該開口部を適宜な手段により密封可能に構成し、公知の掃除機により内部の空気を吸引する吸引部を該袋体に設けたことを特徴とする穀類貯蔵用の袋体。

【請求項2】 請求項1記載の穀類貯蔵用の袋体において、袋体の開口部を基部に対して巾細に形成したことを特徴とする穀類貯蔵用の袋体。

【請求項3】 請求項1、2いずれか1項に記載の穀類貯蔵用の袋体において、袋体の開口部を挟持する挟持体を設けたことを特徴とする穀類貯蔵用の袋体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、米、麦、大豆等の穀類を長期間貯蔵するに便利な穀類貯蔵用の袋体に関するものである。

【0002】

【従来の技術及び発明が解決しようとする課題】 従来、米、麦、大豆等の穀類を長期間貯蔵する袋体として、袋体内に脱酸素剤を配設する穀類貯蔵専用の袋体（以下、従来例）が提案されている。

【0003】 この従来例は、袋体の下方に透明なフィルムを貼着して内部が視認できる窓部を形成し、この袋体の中に米等の穀類を収納したら脱酸素剤を当該窓部位置に配設し、脱酸素剤の変色（酸素を吸着すると変色する。）を視認しながら米等を長期間貯蔵するものである。

【0004】 しかしながら、脱酸素剤は酸素の吸着作用が所定期間しか発揮されず、よって、当該従来例の場合、適宜脱酸素剤を交換しなければならない。

【0005】 ところで、この脱酸素剤の交換には当然袋体の開け閉めが伴うことになるが、この袋体の開け閉めにより酸素が少なくなっている袋体内に再び酸素が流入し、従って、また、一から酸素の吸着除去をしなければならず、結局、この穀物貯蔵専用の袋体は無駄が多く、非効率的である。

【0006】 本発明は問題を解決した穀類貯蔵用の袋体を提供するものである。

【0007】

【課題を解決するための手段】 添付図面を参照して本発明の要旨を説明する。

【0008】 米、麦、大豆等の穀類を貯蔵する穀類貯蔵用の袋体であって、一側に開口部1aを形成した袋体1を設け、該開口部1aを適宜な手段により密封可能に構成し、公知の掃除機2により内部の空気を吸引する吸引部3を該袋体1に設けたことを特徴とする穀類貯蔵用の袋体に係るものである。

【0009】 請求項1記載の穀類貯蔵用の袋体において、袋体1の開口部1aを基部に対して巾細に形成した

ことを特徴とする穀類貯蔵用の袋体に係るものである。

【0010】 請求項1、2いずれか1項に記載の穀類貯蔵用の袋体において、袋体1の開口部1aを挟持する挟持体4を設けたことを特徴とする穀類貯蔵用の袋体に係るものである。

【0011】

【作用】 袋体1に米等の穀類を収納し、開口部1aを適宜な手段で密封し、吸引部3に公知の掃除機2を連設して袋体1内の空気を吸引する。

【0012】

【実施例】 図面は本発明の一実施例を図示したもので、以下に説明する。

【0013】 本実施例の袋体1は適度に強度を有する透明な合成樹脂部材で成形する。該袋体1の上部は先細り状に形成され、この先細り部の端部が開口部1aに設定される。

【0014】 この開口部1aは適宜な合成樹脂で成形した挟持凹体4aと挟持凸体4bからなる公知の挟持体4により挟持する。具体的には挟持凹体4aの凹条に挟持凸体4bの凸条を嵌入して両者により開口部1aを閉塞する。

【0015】 袋体1の上端側には吸引部3が形成されている。この吸引部3は袋体1に付設される合成樹脂製の止着体8に突設されている。この止着体8は袋体1に穿設された窓孔位置に止着されるものであって、止着体8の外周に統設した止着板5で窓孔周縁を挟持して袋体1に止着される。符号6は弁、7は米等が吸引されることを防止するフィルター、9は栓、10は掃除機2の吸引ホース2aを隙間なく可及的に密着状態にする為の柔軟板である。

【0016】 本実施例は上述のように構成したから、袋体1内に例えば米を収納し、該袋体1の開口部1aを挟持体4で挟持して袋体1を密封する（開口部1aは折り返して挟持する。）この密封された状態で袋体1の吸引部3に掃除機2の吸引ホース2aを被嵌してその下端を柔軟板10に当接せしめ、掃除機2を作動させて袋体1内の空気を吸引すると、袋体1内は排気され可及的に真空状態となる。

【0017】 よって、米を長期間貯蔵する場合には適宜掃除機2で袋体1内を排気するという簡単な作業で済むことになる。

【0018】 また、本実施例の吸引部3は弁6が設けられている為、袋体1内の真空状態が不良となって再吸引する際、栓9を開放しても袋体1内に空気が流入することは確実に防止され、前記した従来例に比し効率的に米の貯蔵を行い得ることになる。

【0019】 更に、本実施例は酸素のみを消失させる従来例とは異なり、空気を消失させ、真空状態を作出するものであるから、袋体1の容積が減少し、それだけ袋体1の保管スペースが少なくて済むことになるとともに袋

3

体1内の水分も除去され、この点においても米の良好な長期貯蔵が可能となる。

【0020】

【発明の効果】本発明は上述のように構成したから、米等の穀類の長期貯蔵を且つ良好簡単に行い得る秀れた穀類貯蔵用の袋体となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本実施例の斜視図である。

4

*【図2】本実施例の要部の断面図である。

【図3】本実施例の使用状態を示す斜視図である。

【符号の説明】

1 袋体

1a 開口部

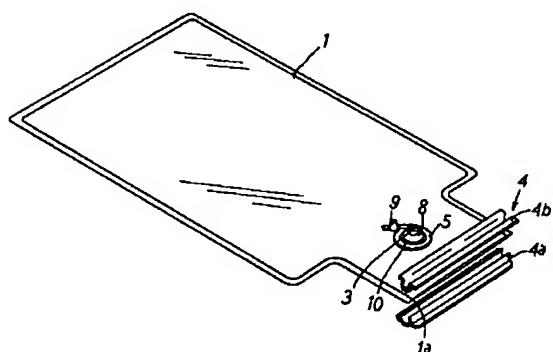
2 掃除機

3 吸引部

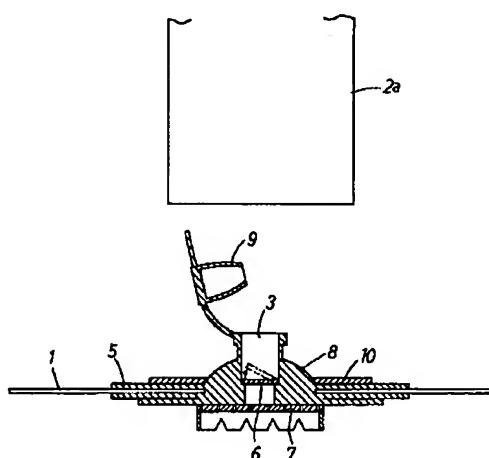
4 挟持体

* 4

【図1】



【図2】



【図3】

